

千葉労働局発表  
令和6年4月30日

【照会先】  
千葉労働局労働基準部 健康安全課  
課長 小菅 拓也  
副主任労働衛生専門官 関 高久  
(電話) 043-221-4312

報道関係者 各位

## 熱中症を予防しましょう！ ～STOP！熱中症 クールワークキャンペーン～

厚生労働省では、5月1日から9月30日まで全国でSTOP！熱中症 クールワークキャンペーンを実施します。

千葉労働局（局長：岩野剛）は、本年から「Cool work CHIBA」のロゴマークを用いて、熱中症対策に取り組みます。

5月から「Cool work CHIBA」のロゴを使用して、県民の皆様へ広く周知・啓発を行うことにより、熱中症予防による労働災害の撲滅を図ります。



### ポイント

- 1 STOP！熱中症 クールワークキャンペーンを実施します。**  
千葉県では7月及び8月を重点取組期間とします（全国は7月）。
- 2 「Cool work CHIBA」のロゴマークの活用例を周知・啓発します。**  
「Cool work CHIBA」のステッカーを配布します。  
ヘルメットに貼る等により作業者の労働者の意識の向上を図ります。
- 3 チェック・ザ・WBGT 値プログラムを実施します。**  
6月1日から9月30日まで千葉県内で実施します。  
千葉労働局及び県内の労働基準監督署（8署）において、熱中症（WBGT）指数計の展示・実演を実施します。

# STOP! 熱中症

令和6年5月～9月

## クールワークキャンペーン

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約800人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!

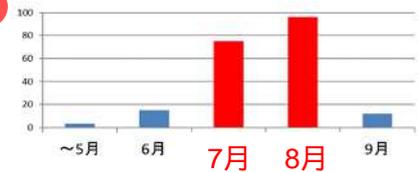


実施期間：令和6年5月1日～9月30日（準備期間4月、重点取組期間7月・8月）



キャンペーン実施要綱

確実に実施できているかを確認し、**に**チェックを入れましょう!



### 準備期間（4月1日～4月30日）

労働衛生管理体制の確立	事業場での熱中症予防の責任体制を確立	
暑さ指数の把握の準備	JIS規格に適合した暑さ指数計を準備し、点検	
作業計画の策定	暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止に関する事項を含めた作業計画を策定	
設備対策の検討	簡易な屋根、通風または冷房設備、散水設備の設置を検討	
休憩場所の確保の検討	冷房を備えた休憩場所や涼しい休憩場所の確保を検討	
服装の検討	透湿性と通気性の良い服装を準備、身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討	
緊急時の対応の事前確認	緊急時の対応を確認し、労働者に周知	
教育研修の実施	管理者、労働者に対する教育を実施	

労働災害防止キャラクター チューイカン吉

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）

# キャンペーン期間（5月～9月）にすべきこと

STEP  
1

## 暑さ指数の把握と評価

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握  
地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省）を参考とすることも有効

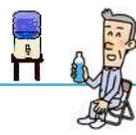
WBGT値、確認ヨシ!



環境省  
熱中症予防情報  
サイト

STEP  
2

## 測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底

暑さ指数の低減	準備期間に検討した設備対策を実施	
休憩場所の整備	準備期間に検討した休憩場所を設置	
服装	準備期間に検討した服装を着用	
作業時間の短縮	作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、作業中止	
暑熱順化への対応	7日以上かけて熱へのばく露時間を次第に延長 新規入職者や休み明け労働者に注意	
水分・塩分の摂取	水分と塩分を定期的に摂取	
プレクーリング	作業開始前や休憩時間中に深部体温を低減	
健康診断結果に基づく対応	次の疾病を持った方には医師等の意見を踏まえ配慮 糖尿病、 高血圧症、 心疾患、 腎不全、 精神・神経 関係の疾患、 広範囲の皮膚疾患、 感冒、 下痢	
日常の健康管理	当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量の飲酒が熱中症 の発症に影響を与えることを指導し、作業開始前に確認	
作業中の労働者の健康状態の確認	巡視を頻繁に行い声をかける、労働者にお互いの健康状態を留意するよう指導	
異常時の措置	少しでも本人や周りが異変を感じたら、必ず一旦作業を離れ、 病院に搬送する（症状に応じて救急隊を要請）などを措置 <b>全身を濡らして送風することなどにより体温を低減</b> 一人きりにしない	

## 重点取組期間（7月・8月）にすべきこと

暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加  
暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底  
水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底  
作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加  
熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施  
**体調不良の者に異常を認めるときは、躊躇することなく救急隊を要請**



# 「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」推進中

## 『Cool work CHIBA』ロゴマークについて

千葉労働局では、令和6年5月から9月までの間、「STOP！熱中症 クールワークキャンペーン」(7・8月は重点取組期間)を推進しています。同キャンペーンを広く周知し、取組意識をさらに向上していただくため

## 『Cool work CHIBA』

のロゴマークを作成しました。



### 【ロゴマーク活用例】



事業場内に掲示し、熱中症  
予防を呼びかけましょう

労働者に身に付けさせ、  
熱中症予防に対する意識  
を向上させましょう

ロゴマークは、千葉労働局ホームページから  
ダウンロードしていただけます。

千葉労働局 > 各種法令・制度・手続き >  
安全衛生関係 > 労働衛生 トップページ

#### 【URL】

[https://jsite.mhlw.go.jp/chiba-roudoukyoku/hourei\\_seido\\_tetsuzuki/anzen\\_eisei/cool\\_work\\_campaign\\_chiba\\_.html](https://jsite.mhlw.go.jp/chiba-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/cool_work_campaign_chiba_.html)

#### 【QRコード】



# チェック・ザ・WBGT値

## プログラム実施中

は か  
実測れば分かる!!



千葉労働局・管内各労働基準監督署では、WBGT指数計（熱中症指数計）の展示及び測定実演を行っております。

また、無料のオンライン講習動画「WBGT指数計を用いた作業環境管理の方法について」等をご案内いたします。

労働局・監督署にお越しの用がありましたら、安全衛生の窓口にお立ち寄りください。（担当者外出中や機器持ち出し中の場合はご容赦願います。貸出は行っておりません。）

今年も実施：令和6年6月1日～9月30日

- ・ WBGT(熱中症)指数計の展示・実演
- ・ オンライン講習動画のご案内
- ・ WBGT指数計活用事例の紹介



厚生労働省が開設するウェブサイトでは、次のような**オンライン講習動画**を、どなたでも無料でご利用いただけます。

1. 熱中症が発生する原理と発生時の措置
2. 熱中症予防対策として有効な対策（管理者向け）
3. 熱中症予防対策として有効な対策（作業者向け）
4. **WBGT指数計を用いた作業環境管理の方法について**
5. 熱中症予防対策の好事例

また、導入しやすい**WBGT指数計活用事例**（WBGT値の実測、WBGT基準値に基づく評価等、WBGT値の低減等）を紹介しています。



厚生労働省熱中症対策キャラクター  
チューイ カン吉

## 学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！ 職場における熱中症予防情報

職場における熱中症予防情報

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>



## WBGT(暑さ指数)とは

WBGT値、確認ヨシ！



WBGTとは 気温の効果、湿度の効果、輻射熱の効果の3つを取り入れた温度の指標で、熱中症の発生と高い相関を示す指標です。

気温・湿度・輻射熱の効果は、1：7：2で、湿度が大きな割合を占めています（屋外の場合）。

暑さ指数を感覚的に判断するのは難しいことです。JIS規格に適合した**WBGT指数計（熱中症指数計）**を使ってWBGT値を**実測**し、熱中症予防対策を実施しましょう。

WBGT値	注 意	警 戒	嚴重警戒	危 険
	25℃未満	25℃～28℃	28℃～31℃	31℃以上

～ 今年も開催！ ～

## 令和6年 STOP！熱中症 クールワークキャンペーン

WBGT値の把握・評価・低減方法のほか、熱中症予防対策の詳細な実施事項をご覧ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116133.html>